

## 第 25 回 AE 技術研究会 & 懇親会 開催のお知らせ (第 1 報)

第 25 回 AE 技術研究会開催案内 (第 1 報) をお送り致します。

今回は、下記のような 2 件の講演を予定しています。

ご出席を予定される方は、9 月 25 日 (火) 頃までに国松 (sunao.kunimatsu@gmail.com) 宛に(1)講演会、(2)懇親会 (事前予約が必要) に分けて参加の有無をご返信くださるようお願い致します。

以下の参加者情報は、次報以降でお知らせ致します。

1. (1)研究会および(2)懇親会にご参加の方 (順不同・敬称略) ○○名
2. (1)研究会のみにご参加の方 (順不同・敬称略) ○名

### 記

開催日時 : 10 月 1 日 (月) 14 : 00 ~ 16 : 50

場 所 : 我孫子南近隣センター けやきプラザ内 8 階 第 1 会議室

[https://www.city.abiko.chiba.jp/event/shisetsu/kinrin\\_shimin/abikominami.html](https://www.city.abiko.chiba.jp/event/shisetsu/kinrin_shimin/abikominami.html)

講 演 : (CPD 2.3 単位)

14 : 15 ~ 15 : 25 (質疑含む)

(1) 「伝搬媒質、波長で異なる、超音波 (振動、AE、波動) の特性」

(有) ツツイ電子 代表取締役 筒井 透 氏

【講演概要】伝搬する媒体の形状、周波数 (波長) により音速が異なり、振動のモードが異なる事は、物理法則として良く知られている。しかしながら、実際の応用分野においては、この常識が認知されずに、間違った理解があるのを散見する。この原因は波動が非線形微分方程式で記述される波動関数である事が原因の一つである。すなわち、普通に頭で考えていては解らないので、数値計算で解析した実例と、注意すべき

要点をまとめるとともに、軍用、医療用では良く使用されている、フェーズドアレイの原理を紹介する。AE 計測においても同様の手法は有効であると思われる。

15 : 35 ~ 16 : 45 (質疑含む)

(2) 「注水にともなう AE (誘発微小地震) 解析の最前線」

東北大学 流体科学研究所 助教 学術博士 椋平 祐輔 氏

【講演概要】非在来型資源・地熱開発の拡大に伴い、AE (微小地震) モニタリングは、国内外で必要不可欠な技術として確立されつつあります。以前は AE の高精度な震源決定が、主な興味でしたが、今は AE から震源以上の情報を抽出すること (beyond the dots) が求められています。AE 解析には地震学の手法がそのまま用いられますが、地下開発分野では坑内計測で得られた様々な地下地球物理情報と組み合わせることで、さらに多くの地下情報を抽出することや、より貯留層内の物理現象を理解することができます。本講演では、最近の私の研究事例から、これらの内容をご紹介します。

懇親会 (有志) : 17:20 ~ (会費 4,000 円、学生は 2,500 円)

海鮮居酒屋 はなの舞 千葉我孫子店

千葉県我孫子市本町 2-2-4 銀寿ビル 050-5841-8777

(以 上)

【地図】

研究会会場



懇親会会場 : <https://r.gnavi.co.jp/e113192/>

